

*IRPC Tarachine presents*

原発事故から1年  
みんなが元気であるために！

木村真三先生&たらちねの調査報告会

2012.2.19 (Sun)

開場 13:00 開演 13:30 終演 16:00

会場：総合保健福祉センター（内郷保健センター）

福島県いわき市内郷高坂町四方木田191 Tel. 0246-27-8555

参加費：500円 / 高校生以下無料

主催：いわき放射能市民測定室 Tarachine

お問い合わせ：いわき放射能市民測定室 Tarachine

E-mail tarachine@bz04.plala.or.jp / Fax 0246-92-2526

福島県いわき市小名浜花畑町11-3カネマンビル3階

★講演会参加申し込み

件名を「講演会」として、EメールかFAXでお申し込みください。  
氏名、住所、電話番号、年齢、参加人数を明記してください。

E-mail → tarachine@bz04.plala.or.jp / Fax → 0246-92-2526

お誘いあわせのうえ  
お気軽にご参加ください！  
\* 事前に参加お申し込みを  
お願いします

 Iwaki  
Radio-Proof Centre,  
Tarachine

IRPC Tarachine presents

原発事故から1年 みんなが元気であるために！  
木村真三先生&たらちねの調査報告会

2012.2.19 (Sun) @総合保健福祉センター



3・11福島第一原子力発電所の事故以来、自身の意志に忠実な思いのままに、事故現場である福島県を中心に放射線量を測定しつづけ、国や東電の把握していない高濃度汚染地域を発見し、人々に伝え、多くの命を守ることに尽力している木村真三先生…。

真三先生は、私たち『いわき放射能市民測定室 たらちね』のアドバイザーでもあります。人の身体を測るホールボディカウンターによる測定をはじめ、様々な対応をしなければならない食品の測定、あるいは今後、必要とされるであろう他の測定に関して、常に的確なアドバイスをくださり、共に考えてくださる心強い存在です。

あの3・11から約1年が過ぎ、測定室たらちねから測定の間接報告を、そして真三先生の熱く厳しい1年間の調査報告と、これからのFUKUSHIMA、こらからのIWAKIを知るためにぜひ、会場に足を運び真三先生の言葉に耳をかたむけてください！



### 木村真三 プロフィール

2011年3月11日の福島第一原子力発電所事故後、放射線測定器の草分け的存在、岡野真治博士と共に福島各地を回って放射線量を測定し放射能汚染地図を作成する。同時に採取した大気ダスト・土壌・植物・水など様々なサンプルを大学の環境放射能の専門家に送り、放射能汚染の拡がりをつまらせた。この現地調査の様子が昨年5月15日、NHK ETV特集「ネットワークで作る放射能汚染地図」として放映され、福島県の詳細な放射能汚染測定値がはじめて一般に公開された。6月5日には続編が放映され、福島第一原子力発電所の正門から1km離れた住宅地で採取したサンプルの分析結果を公開。プルトニウムやセシウムが敷地外から発見されたことに注目が集まった。この他、チェルノブイリ原子力発電所事故の影響で汚染被害を受けた、ウクライナジトーミル州ナロージチ地区の住民の健康調査も行っている。現在、二本松市にある「廣協医科大学国際疫学研究室福島分室」室長となり、二本松市民の内部被ばく調査や福島県内の環境調査を行っている。汚染米の発生原因や汚染コンクリートの発見など現在も精力的な調査活動を展開中。



●会場アクセス

## いわき放射能市民測定室 たらちね

2011年3月11日、福島第一原子力発電所の事故、そして止まらない放射能漏れによる地元の土地の汚染と健康被害から子供を守るため、地域を守るため開所された一般の人々による放射能測定室。

測定内容は、食品の放射能測定器による測定と、ホールボディカウンターによる人体の放射能測定。

測定室の愛称「たらちね」は母を意味する言葉であり、子を守る母の心を持って運営することを測定室の心とし、汚染されてしまった被ばく後のいわきの土地で生きていくための必要な情報を地域のみならずみなさまにお知らせするべく日々、努力し活動している。



いわき放射能市民測定室 Tarachine  
Iwaki Radio-Proof Centre  
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町 11-3  
カネマンビル 3階 Tel & Fax 0246-92-2526  
[www.iwakisokuteishitu.com](http://www.iwakisokuteishitu.com)

